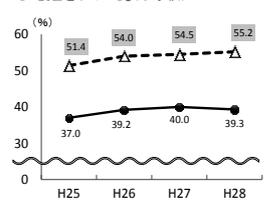
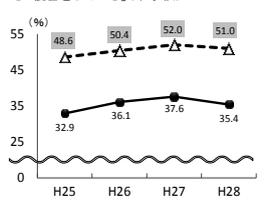
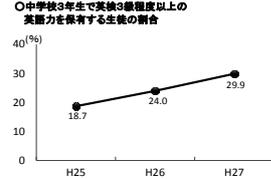
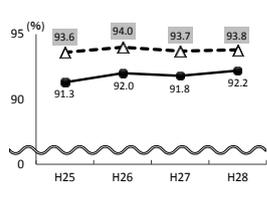
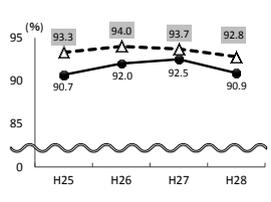
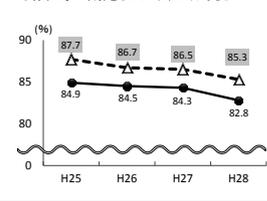
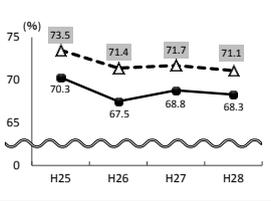
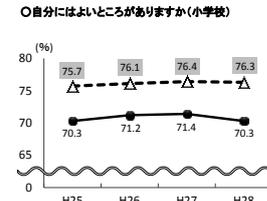
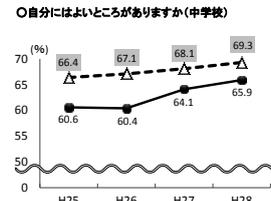
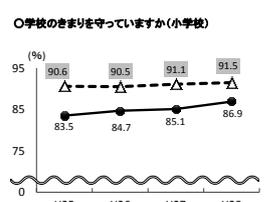
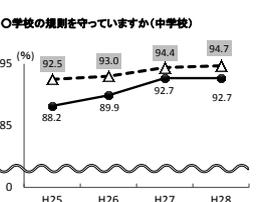


2 教育振興基本計画に掲げた 27 年度までの目標の達成状況

目標	達成状況	評価結果
第1 子どもの自立に必要な力の育成		
1 学力の向上		
無解答の割合：全国平均以下	<p>○無解答の割合(小学校【国語】)</p> <p>○無解答の割合(小学校【算数】)</p> <p>○無解答の割合(中学校【国語】)</p> <p>○無解答の割合(中学校【数学】)</p>	<p>【 B 】</p> <p>小学校【算数】(知識)で全国との差に改善が見られなかったものの、小学校【算数】(活用)で、全国平均以下となり目標を達成するなど、その他の項目では全国との差が縮小した。中学校においては、全ての項目において改善傾向にあるものの、昨年度に比べて全国との差が広がっており、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別少人数授業
知識に関する問題の正答率 8割以上の児童生徒の割合：全国平均以上	<p>○知識に関する問題の正答率 8割以上の割合(小学校)</p> <p>○知識に関する問題の正答率 8割以上の割合(中学校)</p>	<p>【 B 】</p> <p>小学校では【国語】【算数】とも若干ではあるが全国平均との差が縮小している。中学校の【数学】については全国平均に近づいているものの、【国語】については全国との差が広がっており、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育ICT活用事業
活用に関する問題の正答率 3割以下の児童生徒の割合：全国平均以下	<p>○活用に関する問題の正答率 3割以下の割合(小学校)</p> <p>○活用に関する問題の正答率 3割以下の割合(中学校)</p>	<p>【 B 】</p> <p>小・中学校ともに【算数】は全国との差が縮小しているものの、【国語】は若干ではあるが全国との差が拡大している。小学校【国語】、中学校【国語】【数学】については改善傾向にあるものの、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別少人数授業 ・理科教育の充実
「書くこと」「読むこと」に関する項目の平均正答率：全国平均以上	<p>○「書くこと」の平均正答率(小学校)</p> <p>○「読むこと」の平均正答率(小学校)</p> <p>○「書くこと」の平均正答率(中学校)</p> <p>○「読むこと」の平均正答率(中学校)</p>	<p>【 B 】</p> <p>小学校の「知識」に関する問題について、「読むこと」の平均正答率は全国との差が縮小したが、その他の項目については、全国との差が若干広がった。中学校については、全ての項目について、今年度全国との差が広がったものの、改善傾向にある。しかしながら、めざす目標の水準に対しては順調と言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語力等の育成

目標	達成状況	評価結果
<p>「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している(どちらかといえばしている)」と答える児童生徒の割合:全国平均以上</p>	<p>○「復習をしている」(小学校)</p>  <p>○「復習をしている」(中学校)</p> 	<p>【 B 】</p> <p>25～27年の全国調査の傾向を見ると、小・中学校ともに、全国との差が拡大しており、めざす目標の水準に対しては順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後ステップアップ ・学習教材のデータ配信 ・学習サポーターの配置等
<p>中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合:30%以上</p>	<p>○中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合</p> 	<p>【 A 】</p> <p>27年度にめざす目標の水準にほぼ到達した。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語イノベーション
<p>2 道徳心・社会性の育成</p>		
<p>「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童生徒の割合:全国平均以上</p>	<p>○人の役に立つ人間になりたいと思いますか(小学校)</p>  <p>○人の役に立つ人間になりたいと思いますか(中学校)</p> 	<p>【 B 】</p> <p>小学校は全国平均に比べ改善されてきている。中学校では昨年度まで改善傾向にあったが、今年度全国との差が若干広がった。小・中学校ともに改善傾向にあるもののめざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業の実施 ・道徳教育の推進
<p>「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童・生徒の割合:全国平均以上</p>	<p>○将来の夢や目標を持っていますか(小学校)</p>  <p>○将来の夢や目標を持っていますか(中学校)</p> 	<p>【 B 】</p> <p>小・中学校ともに改善傾向にあるものの、依然として差があり、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進
<p>「自分にはよいところがありますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童・生徒の割合:全国平均以上</p>	<p>○自分にはよいところがありますか(小学校)</p>  <p>○自分にはよいところがありますか(中学校)</p> 	<p>【 B 】</p> <p>小学校では全国との差が拡大している。中学校では全国との差が縮小し、改善傾向にあるものの、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する教育の推進
<p>「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童・生徒の割合:全国平均以上</p>	<p>○学校のきまりを守っていますか(小学校)</p>  <p>○学校の規則を守っていますか(中学校)</p> 	<p>【 B 】</p> <p>中学校では全国との差が若干広がっているものの小学校では縮小しており、改善傾向にある。しかしながら、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する教育の推進

目標	達成状況	評価結果
学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合：100%	<p>〇いじめ解消に向けた対応している割合</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標を達成した。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの派遣 ・第三者専門家チームの派遣
中学校における不登校の生徒の割合：全国平均以下	<p>〇不登校の割合(中学校)</p>	<p>【 B 】</p> <p>全国調査の傾向を見ると、本市の数値は増加傾向にある。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策等プロジェクト会議 ・スクールソーシャルワーカーの派遣
学校園で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合：100%	<p>〇児童虐待の個々のケースについて、必要な対応している割合</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標を達成した。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待等相談窓口 ・第三者専門家チームの派遣
防災に関する授業を年間2時間以上実施する学校の割合：100%	<p>〇防災に関する授業を年間2時間以上実施している割合</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標を達成した。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災教育の推進
<p>3 健康・体力の保持増進</p>		
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果：全国平均以上	<p>〇運動能力8種目合計得点(小学校5年)</p> <p>〇運動能力8種目合計得点(中学校2年)</p>	<p>【 B 】</p> <p>小・中学校とも改善してきているものの、これまでの改善の程度ではめざす水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力向上支援
全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない(あまり食べていない)」と答える児童・生徒の割合：全国平均以下	<p>〇朝食を毎日食べていない、あまり食べていない(小学校)</p> <p>〇朝食を毎日食べていない、あまり食べていない(中学校)</p>	<p>【 B 】</p> <p>小・中学校ともに全国平均に比べ改善の傾向にあるものの、めざす目標の水準に対して順調に進捗しているとは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進
栄養バランスのとれた昼食(家庭弁当や学校給食)を取る中学生の割合：100%	<p>段階的に全員喫食に移行しており、28年度には100%になる予定である。</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標を達成する予定。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食の実施

目標	達成状況	評価結果
4 幼児教育の充実		
幼児教育において、知・徳・体の調和のとれた人格の育成に徹底して取り組み、規範意識を醸成する中で自他を思いやる心を育てる	<p>○子どもの規範意識や思いやりに関する肯定的な回答の割合(保護者アンケート)</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標の達成に向け順調に推移。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の充実
5 特別支援教育の充実		
保護者参画のもとで「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を策定した割合	<p>○保護者のもとで策定している割合</p>	<p>【 B 】</p> <p>目標の達成に向け、順調に推移しているが、保護者参画のもとで策定している割合は100%に至っていない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実
知的障がい特別支援学校で特別教室を普通教室に転用している状態の解消	<p>○特別教室等を普通教室に転用している割合(知的障がい特別支援学校)</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標を達成した。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の整備
第2 学校教育の質の向上		
1 学校の活性化		
「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し学校として組織的に取り組んでいる」と回答する学校の割合：全国平均以上	<p>○学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し学校として組織的に取り組んでいる (小学校)</p> <p>○学校運営の状況や課題を全教職員の間(中学校)で共有し学校として組織的に取り組んでいる</p>	<p>【 B 】</p> <p>小学校では、改善傾向が見られるものの、中学校では全国との差が広がっており、目標とする水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長経営戦略予算
校務の効率化のために環境整備を行う以前と比べて、教職員が児童生徒と向き合う時間：100時間程度増やす	<p>H25: 教頭 136.3 時間、学級担任 168.1 時間 H26: 教頭=年間 229.8 時間、学級担任=年間 224.1 時間 (H25・H26 は試験導入校調査) H27: 小学校管理職 285 時間、中学校管理職: 233.6 時間 小学校学級担任: 142.9 時間、中学校学級担任: 101.6 時間</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標を達成した。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援 ICT 活用事業 ・副校長の配置等 ・専門家チームの派遣 ・生活指導支援員の配置
精神疾患による病気休職中の教員の割合: 全国平均以下	<p>○精神疾患による病気休職中の教員の割合</p>	<p>【 B 】</p> <p>目標の達成に向け改善されているが、27年度までの改善の程度ではめざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復職支援
11 学級以下の小学校について適正化を図る	<p>H25: 対象校 2 校の適正化が完了 H26: 対象校 4 校の適正化が完了 H27: 対象校以外 4 校の統合が完了</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標の達成に向け順調に推移。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校配置の適正化

目標	達成状況	評価結果
全小・中学校の校舎等の耐震補強を完了し、建替も含めた学校の耐震化の完了	<p>○建て替えも含めた学校の耐震化の完了</p> <p>※28年度中に完了予定</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標の達成に向け順調に推移。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の整備

2 教職員の資質・能力の向上

目標	達成状況	評価結果
全国学力・学習状況調査の「国語・算数(数学)・理科の授業がよくわかりますか」「国語・算数(数学)・理科は好きですか」の項目について、「よくわかる(好き)」と答える児童・生徒の割合:全国平均以上	<p>○授業の内容がよくわかると回答した割合(小学校)</p> <p>○国語・算数が好きと回答した割合(小学校)</p> <p>○授業の内容がよくわかると回答した割合(中学校)</p> <p>○国語・数学が好きと回答した割合(中学校)</p>	<p>【 B 】</p> <p>中学校の数学において「よくわかる」の項目は目標水準まで改善されたが、他の項目においては改善傾向にあるものの、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばる先生支援

目標	達成状況	評価結果
教育センター調査の「研究授業を実施した教員の授業改善が行われ、学習指導力が向上した」の項目について、「とても思う・思う」と答える校長・校内研修主导者の割合:毎年90%以上	<p>○研究授業を実施した教員の授業改善が行われ、学習指導力が向上した(小学校)</p> <p>○研究授業を実施した教員の授業改善が行われ、学習指導力が向上した(中学校)</p>	<p>【 A 】</p> <p>目標の達成に向け順調に推移。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導力不足教員への対応

第3 市民が協働する仕組みづくりと生涯学習の支援

1 学校・家庭・地域の連携の推進

目標	達成状況	評価結果
全国学力・学習状況調査の「PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか」の項目について、「よく参加してくれる(参加してくれる)」と答える学校の割合:全国平均以上	<p>●PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか(小学校)</p> <p>●PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか(中学校)</p>	<p>【 B 】</p> <p>特に中学校では27年度に大幅な改善が見られたものの、小中学校ともにめざす目標の水準に対しては順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップ地域本部 ・はぐくみネット

2 生涯学習の推進

目標	達成状況	評価結果
一年間のうちに生涯学習活動を行ったことがある市民の割合を増やす	<p>○一年間のうちに生涯学習活動を行ったことがある市民の割合</p>	<p>【 B 】</p> <p>減少しており、順調とは言えない。</p>
生涯学習活動で身に付けた知識・技術等の成果を、ボランティア活動や地域活動、他人への学習への指導等に活用していると答える市民の割合を増やす	<p>○生涯学習活動で身に付けた知識・技術等の成果を、ボランティア活動や地域活動、他人への学習の指導等に活用している市民の割合</p>	<p>【 B 】</p> <p>減少しており、順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ルーム事業(読書活動支援ボランティア)
全小・中学校において、学校図書館の図書を整備するとともに会館回数を増加させるなど学校図書館の充実を図る	<p>週当たりの開館回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校:6.5回 ・中学校:6.1回 	<p>【 - 】</p> <p>※H27年度新規設定</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活用推進事業

3 「平成 27 年度 市政改革の基本方針」に基づく取組等

【取組項目 1】未利用地の売却・転活用の促進	
趣旨・目的	
未利用地の売却・転活用にに向けた取組を促進し、市有財産の有効活用と財源の確保を図る。	
取組内容・目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・処分検討地となっている全ての未利用地について、区役所と連携し、地域の理解を得ながら、境界確定等の商品化を順次進める。売却時期の前倒しも含めて、早期に売却できるよう進めていく。 ・商品化が困難なものについては、測量・登記事務を民間委託することも視野に入れ、スピード感を持って取り組んでいく。 ・売却が困難な未利用地については、積極的に転活用を図っていく。 	
当年度の取組実績及び目標の達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・商品化及び売却手続き事務を進めており、もと長吉小学校用地やもと城東小学校用地の商品化が完了した。もと長吉小学校用地は年度内に入札を行い、197 百万円で売却を行った。もと城東小学校用地は次年度早々に売却を行う。 もと市岡商業高等学校については、次の活用方針が決まるまで、売却をいったん取り下げた。 ・測量・登記事務の民間委託を一部で行い、スピード感を持って商品化に取り組んだ。 ・売却が困難な長橋小学校代替地については、貸付による有効活用で入札を実施した。(28 年 4 月 1 日より貸付開始) 	
課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・今後処分を行う予定の未利用地について、土壌汚染や境界確定が難航するなど、商品化が難航している物件がある。 ・地元の意向やまちづくりの観点から、売却の時期や手法について各区長と調整を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きスピード感を持って売却準備を進めていくとともに、今年度予算化されていない物件についても、今後、速やかに売却処分に移れるように境界確定等の商品化事務を進めていく。 ・売却時期やその手法については、地元の意向や各区のまちづくりの方針など、各区長と十分な調整を図っていく。 ・転活用を行う場合においても、地元の意向や将来の展望を見据え、各区長と十分な協議を図っていく。

【取組項目 2】民間委託化の推進	
趣旨・目的	
業務の効率化を図るため、事務事業の民間委託化を推進する。	
取組内容・目標	
小学校給食調理業務の民間委託化を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに 6 校で実施 (計 89 校) 	
当年度の取組実績及び目標の達成状況	
小学校 3 校・小中一貫校 3 校で民間委託を実施した。	

課題	改善策
事業の水準を確保しながら、民間委託を推進する必要がある。	引き続き受託業者の指導や仕様書の点検を行っていく。

【取組項目3】 キッズプラザ大阪 施設運営のあり方検討
趣旨・目的
市政改革プランを踏まえ、キッズプラザ大阪運営費補助の見直しを進め、施設運営のあり方について抜本的検討を行う。
取組内容・目標
年次ごとの計画を踏まえて、事業関係費用の見直し等、具体的方策に取り組み、補助金の縮減を図るとともに、今後の施設運営のあり方について引き続き検討を進める。
当年度の取組実績及び目標の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・料金改定及び各種割引の見直しを行うことで、段階的に補助金を縮減し、27年度については計画どおりの縮減を実施した。 ・29年度以降の施設運営について、27年12月よりマーケット・サウンディング（市場調査）を実施することで、新たな担い手の可能性を具体的に検討した。
課題・改善策
マーケット・サウンディングにおける民間事業者との対話結果を受け、29年度以降の施設運営についてのあり方を早急に明確にする必要がある。

【取組項目4】 クラフトパーク 施設運営のあり方の抜本的検討
趣旨・目的
市政改革プラン及び市民利用施設の見直し実施計画に基づき、26年度から2年以内に収支均衡の実現をめざす。
取組内容・目標
新しい指定管理期間2年目として、収支均衡の見通しを判断のうえ、28年度以降の管理運営の手法を決定する。
当年度の取組実績及び目標の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間閉館等による経費削減や料金改定等による収入増策により、収支均衡の見通しがたつと判断し、28年度以降も行政財産として存続させ、業務代行料を負担しない形で施設運営を行うこととした。 ・28年度以降の管理運営は指定管理者による方式に決定し、指定管理者を公募・選定した。
課題・改善策
今後も引き続き収支均衡を図ることができるよう、歳入の確保や歳出の削減等に努める。

【取組項目5】 職員数・超過勤務手当の削減
趣旨・目的
事務局職員については、27年度市政改革の基本方針を踏まえ、今後、より効率的・効果的な配置に努める。学校園教職員については、引き続き削減を着実に挙げる。あわせて、超過勤務手当の更なる削減に取り組む。

取組内容・目標
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員については、効率的・効果的な配置に努める。 ・管理作業員については、業務の効率化に伴う見直しや事務転任等を実施する。 ・給食調理員については、給食調理業務の民間委託化に伴う見直しや事務転任等を実施する。 ・超過勤務手当については、削減に取り組む。 <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員については、全市的な方針に基づき、事務・技術職員の3%（9人）程度の見直しに努める。また、教育施策・予算の基本方針を踏まえ、関係所属と調整の上、事務局組織の体制整備を図る。 ・管理作業員については、45人削減する。（累計239人見込み） ・給食調理員については、21人削減する。（累計202人見込み） <p>（いずれも27年4月現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務手当については、本市方針を踏まえ、更なる削減に取り組む。
当年度の取組実績及び目標の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員については、事務・技術職員の3%を削減し、全市的な方針に基づいた削減目標を達成した。また、教育施策・予算の基本方針を踏まえ、関係所属と調整の上事務局組織の体制整備を図った。 ・管理作業員については、45人削減した。 ・給食調理員については、21人削減した。 ・超過勤務手当については、当初予算内に収まるよう削減に取り組んだ。

【取組項目6】職員力の向上と新たな組織風土づくり
趣旨・目的
<p>業務の円滑化や効率化を図る一方で、職員力やコンプライアンス意識・役割意識を向上させ、職員がモチベーションやチャレンジ精神を持って取り組める組織風土を醸成することを通して、より質の高い教育行政の推進や市民サービスの向上をめざす。</p>
取組内容・目標
<p>【事務局職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象としたコンプライアンス意識や人権などに関する研修等を実施する。 ・風通しの良い職場風土づくりのため、継続的にラインミーティングを実施する。 ・「元気アップ運動」として、業務に関する情報等を庁内ポータルに掲載するなど、職員が相互に情報を発信し、共有するための仕組みづくりを継続して行う。 <p>【学校園教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスに関する文書周知や研修を実施するとともに、全教職員対象の個人情報の適正な取り扱いに向けた相互チェックを実施する。 ・服務・監察チームにより全学校園に対して監察業務を行っているが、このチームを活用し、継続的に学校園に対するきめ細かい指導等を行い、コンプライアンス意識の向上、非違行為の未然防止に努める。
当年度の取組実績及び目標の達成状況
<p>【事務局職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象としたコンプライアンス意識や人権などに関する研修等を実施した。

<ul style="list-style-type: none"> ・風通しの良い職場風土づくりのため、各担当課で継続的にラインミーティングを実施した。 ・「元気アップ運動」として、業務に関する情報等を庁内ポータルに掲載するなど、職員が相互に情報を発信し、共有するための仕組みづくりを継続して行った。 <p>【学校園教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校園長を対象にしたコンプライアンス研修や校園長が実施するコンプライアンス職場研修を通して、教職員のコンプライアンス意識の涵養を図った。

【取組項目】 デザイン教育研究所 事業運営のあり方の抜本的検討
趣旨・目的
29年度以降の入学者募集の停止ならびに30年度以降の本市直営による運営停止を決定した中で、同研究所がこれまで培ってきた教育内容の継承を図るため、同研究所に代わる教育機関の確保など、本市直営以外の運営の可否について検討を行う。
取組内容・目標
本市直営以外の運営の可否について検討し、27年度中に結論を得る。
当年度の取組実績及び目標の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・市場性の有無や学校法人等への移管の手法について、マーケット・サウンディングを実施し、民間事業者から広く意見・提案を募り、聞き取りを行った。 ・外部有識者も参画したあり方検討のためのチームを作り、具体的な方策を検討した。
課題・改善策
方針案について最終の調整を行っているところであり、28年度の早い時期に結論を得る。